

県外派遣報告書	
1 大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
2 派遣期間	7月27日(水)～28日(木)
3 派遣者	山中 萌衣
4 担当ゲーム	女子1回戦 岡豊一佐賀清和 CC 女子2回戦 日本航空一柴田学園

5 内容

【PGCの内容】

- ・メカニクスの確認（エリア、アングル、エッジの分担、Cサイドでのプレッシャーが起きた時、など）
- ・クロック管理
- ・インターハイでテーマになっている、ポジションアジャスト、トラベリングの判定、処置ミスゼロについての確認

女子1回戦 岡豊一佐賀清和

CC：山中、U1：高橋（和歌山県）、U2：西（香川県）

- ・前半はせていたが、内容的にはとてもクリーンなゲームであった。
- ・お互いゾーンであり、ローテーションが重い場面があった。マンツーマンに変わった時もそのまま重くなっていたように感じる。
- ・ mismatchのディフェンスを前半で笛を入れておくべきだった。結果、5ファウルで退場者を出してしまった。
- ・ EOQ、EOGもクルーで共有確認することができた。
- ・ 処置ミスもなくゲームを終えることができた。

女子2回戦 日本航空一柴田学園

CC：山中、U1：三瓶（宮城県）、U2：永富（長野県）

- ・ 日本航空の留学生がキーになる試合であった。1Qで留学生のオフenseファウルをコールしたが、ブレイク時でボールの方が気になりすぎて、視野がそちらの方の割合が高かった。ボールマンのところタイトでなかったため、視野の割合をインサイドを高めにして、ポジションどりをもっと早くから捉えておくべきだった。
- ・ トラベリングに関して、クルーが明らかなものをコンスタントにコールしてくれた。白チームに偏っていたため。青の明らかなものを確実にコールすべき場面があった。
- ・ ベースラインからのスローンで同じプレーが続いた時に、ファウルをコールしたりしなかったりということがあったので、もっとクルーとコミュニケーションをとって、気をつけるべきだった。
- ・ 予想外のプレーが起きた時の対応を身につける必要がある。
- ・ アングルが一番取れているレフリーがコールする場面もあり、クルーで協力してゲームを進めることができた。

6 所感

初めて全国大会で CC をさせてもらう中で、初めて一緒に吹かせてもらう方との PGC の仕方やコミュニケーションの取り方など、とても勉強になる大会であった。ここで得たことを自分のものにして継続していきたい

また、感染症対策など、来年の鹿児島国体に向けて参考になることも多かった。

審判に関してのことや感染症対策など、県内に還元していきたい。